

VISUACT-Hシリーズ ⇔ Gシリーズ比較表

2010/4/21

区分	内容		VISUACT-G	VISUACT-G(準標準品)	VISUACT-G2	VISUACT-H	VISUACT-HX
パフォーマンス	解析エンジン性能				従来比1.3倍以上	従来比3倍以上	従来比3倍以上
監視対象	ネットワーク速度×キャプチャポート数		1Gbps以下×1ポート	←	1Gbps以下×1ポート	1Gbps以下×2ポート	1Gbps以下×2ポート
	サーバIPアドレス数 ネットワーク構成		VISUACTサーバ:ファイルサーバIPアドレス =1:1	VISUACTサーバ:ファイルサーバIPアドレス =1:N(無制限)	VISUACTサーバ:ファイルサーバIPアドレス =1:1	VISUACTサーバ:ファイルサーバIPアドレス =1:1 クラスタ、トランキングによるハイトラフィックに対応	VISUACTサーバ:ファイルサーバIPアドレス =1:N(無制限) マルチサーバ、クラスタ、トランキングによるハイトラフィックに対応
	プロトコル		SMB/CIFS、SMB2.0、Kerberos、NetBIOS over TCP/IP、FTP	←	•SMB/CIFS、SMB2.0、Kerberos(IPv4/IPv6)(*1) •NetBIOS over TCP/IP、FTP(IPv4)	•SMB/CIFS、SMB2.0、Kerberos(IPv4/IPv6)(*1) •NetBIOS over TCP/IP、FTP(IPv4)	•SMB/CIFS、SMB2.0、Kerberos(IPv4/IPv6)(*1) •NetBIOS over TCP/IP、FTP(IPv4)
機能	ログ出力	対応文字コード	シフトJIS	←	シフトJIS/UTF-8から選択	シフトJIS/UTF-8から選択	シフトJIS/UTF-8から選択
		IPv6アドレス対応(*1)	非対応	←	対応	対応	対応
		パス・ファイル名の文字数制限	520バイト	←	1040バイト	1040バイト	1040バイト
		Copy、Read時のファイルサイズ出力桁数	10桁	←	20桁	20桁	20桁
	稼働状態監視	サービス起動中のモニタリング	イベントログでの監視のみ、モニタ画面表示不可	←	モニタ画面、イベントログとも監視可能	モニタ画面、イベントログとも監視可能	モニタ画面、イベントログとも監視可能
推奨動作環境	専用PC	CPU	Pentium4 3GHz以上 Intel Core 2Duo	←	Intel Core2Quad以上(*2)	Intel Core2Quad以上	Intel Core2Quad以上
		メモリ	1Gbyte 以上 (Server2008の場合2Gbyte以上)	←	2Gbyte以上(*3)	2Gbyte以上(*3)	2Gbyte以上(*3)
		動作OS	XP/Server2003/Server2008(日本語版) Server2008は32bit版・64bit版共に対応	←	Server2003/2008(日本語版または英語版) Server2008は32bit版・64bit版共に対応	Server2003/2008(日本語版または英語版) Server2008は32bit版・64bit版共に対応	Server2003/2008(日本語版または英語版) Server2008は32bit版・64bit版共に対応
		LANカード	intel ServerAdapter	←	intel ServerAdapter	CASEテクノロジー社製 TurboCap(2ポート)(*4)	CASEテクノロジー社製 TurboCap(2ポート)(*4)
		パケット・キャプチャ・ドライバ	WinPcap 4.0.2(64bit版OS使用時はVer4.1.1)	←	WinPcap 4.1.1	WinPcap 4.1.1	WinPcap 4.1.1
ライセンス	ライセンス体系	<ul style="list-style-type: none"> •VISUACT-G:監視対象ファイルサーバ数(IPアドレス数)に応じたサーバライセンス •クライアント数に応じたクライアントライセンスが別途必要 	<ul style="list-style-type: none"> •監視対象ファイルサーバ(IP)数無制限。(複数ファイルサーバを同時に監視可能)。インストール台数に応じたインストールライセンス •クライアント数に応じたクライアントライセンスが別途必要 	<ul style="list-style-type: none"> •VISUACT-G:監視対象ファイルサーバ数(IPアドレス数)に応じたサーバライセンス •クライアント数に応じたクライアントライセンスが別途必要(*5) 	<ul style="list-style-type: none"> •VISUACT-G:監視対象ファイルサーバ数(IPアドレス数)に応じたサーバライセンス •クライアント数に応じたクライアントライセンスが別途必要(*5) 	<ul style="list-style-type: none"> •監視対象ファイルサーバ(IP)数無制限。(複数ファイルサーバを同時に監視可能)。インストール台数に応じたインストールライセンス •クライアント数に応じたクライアントライセンスが別途必要(*5) 	

(*1)IPv4環境におけるIPv6通信対応

(*2)現在、VISUACT-G ver.1.59以前のバージョンをPentium4またはIntel Core 2Duoで使用されている場合、同一PCでG2にアップグレードするとパフォーマンスが10%程度減少します。

(*3)メモリ2G/バイトへの拡張は必須です。

(*4)PCI Express 4x、または8xの4レーンスロットが必要です。

(*5)H/WやOS交換時には、新しいライセンスキーが必要です。ライセンスキーの再発行は有償サポートに含まれます。

VISUACT-DC2・R2・LM2 ⇔ DC・R・LM比較表

2010/4/21

区分	内容		VISUACT-R	VISUACT-LM	VISUACT-LM2	VISUACT-DC	VISUACT-DC2
監視対象	プロトコル					Kerberos、NetBIOS over TCP/IP	Kerberos (IPv4/IPv6)(*1)、NetBIOS over TCP/IP
機能	ログ出力	出力レベル	4種類SMART,BASIC A(NORMAL),B(HIGH),C(MAX)	4種類SMART,BASIC A(NORMAL),B(HIGH),C(MAX)	←	2種類 (SMART,BASIC A)	2種類 (SMART,BASIC A)
		対応文字コード	シフトJIS	シフトJIS	シフトJIS/UTF-8から選択	シフトJIS	シフトJIS/UTF-8から選択
		IPv6アドレス対応(*1)	非対応	非対応	対応	非対応	対応
		パス・ファイル名の文字数制限	520バイト	520バイト	1040バイト	520バイト	1040バイト
		Copy、Read時のファイルサイズ出力桁数	10桁	10桁	20桁	—	—
	稼動状態監視	サービス起動中のモニタリング	モニタ画面、イベントログとも監視可能	— (サービス起動無し)	— (サービス起動無し)	イベントログでの監視のみ、モニタ画面表示不可	モニタ画面、イベントログとも監視可能
	推奨動作環境	専用PC	CPU	Pentium4 3GHz以上 Intel Core 2Duo以上	Pentium4 3GHz以上	Intel Core 2Duo 以上	Pentium4 3GHz以上 Intel Core 2Duo以上
メモリ			1Gbyte以上 (Server2008の場合は2Gbyte以上)	512Mbyte以上	2Gbyte以上(*2)	512Mbyte以上	1Gbyte以上(*3) (Server2008の場合は2Gbyte以上)
動作OS			2000Server/Server2003/2008 (日本語版) Server2008は32bit版・64bit版共に対応	XP/2000Server SP4 Server 2003	Server2003/2008 (日本語版または英語版) Server2008は32bit版・64bit版共に対応	Server2003/2008 (日本語版または英語版) Server2008は32bit版・64bit版共に対応	Server2003/2008 (日本語版または英語版) Server2008は32bit版・64bit版共に対応
LANカード			intel ServerAdapter	—	—	intel ServerAdapter	←
パケット・キャプチャ・ドライバ			—	—	—	WinPcap 4.0.2 (64bit版OS使用時はVer4.1.1)	WinPcap 4.1.1
ライセンス	ライセンス体系		インストール台数に応じたインストールライセンス	インストール台数に応じたインストールライセンス	← (*4)	監視対象ドメインコントローラ数 (IPアドレス数) に応じたサーバライセンス	← (*4)

(*1)IPv4環境におけるIPv6通信対応

(*2)メモリ2Gバイトへの拡張は必須です。

(*3)メモリ1Gバイトへの拡張は必須です。

(*4)H/WやOS交換時には、新しいライセンスキーが必要です。ライセンスキーの再発行は有償サポートに含まれます。

VISUACT-F2/FX2 ⇔ F/FXシリーズ比較表

2010/4/21

区分	内容		VISUACT-F	VISUACT-FX	VISUACT-F2	VISUACT-FX2
パフォーマンス	解析エンジン性能				従来比1.3倍以上	従来比1.3倍以上
監視対象	ネットワーク速度×キャプチャポート数		100Mbps以下x1ポート	100Mbps以下x1ポート	Fと同じ	FXと同じ
	サーバIPアドレス数 ネットワーク構成		VISUACTサーバ:ファイルサーバ IPアドレス =1:1	VISUACTサーバ:ファイルサーバ IPアドレス =1:N(無制限)	Fと同じ	FXと同じ
	プロトコル		SMB/CIFS、SMB2.0、Kerberos、 NetBIOS over TCP/IP、FTP	←	・SMB/CIFS、SMB2.0、Kerberos (IPv4/IPv6)(*1) ・NetBIOS over TCP/IP、FTP(IPv4)	・SMB/CIFS、SMB2.0、Kerberos (IPv4/IPv6)(*1) ・NetBIOS over TCP/IP、FTP(IPv4)
機能	ログ出力	対応文字コード	シフトJIS	←	シフトJIS/UTF-8から選択	シフトJIS/UTF-8から選択
		IPv6アドレス対応(*1)	非対応	←	対応	対応
		パス・ファイル名の文字 数制限	520バイト	←	1040バイト	1040バイト
		Copy、Read時のファイル サイズ出力桁数	10桁	←	20桁	20桁
	稼動状態 監視	サービス起動中のモニタ リング	イベントログでの監視のみ、モニ タ画面表示不可	←	モニタ画面、イベントログとも監視 可能	モニタ画面、イベントログとも監視 可能
推奨動作環境	専用PC	CPU	Pentium4 3GHz以上 Intel Core 2Duo	←	Intel Core2Duo以上	Intel Core2Duo以上
		メモリ	1Gbyte 以上 (Server2008の場合 2Gbyte以上)	←	2Gbyte以上	2Gbyte以上
		動作OS	XP/Server2003/Server2008(日 本語版) Server2008は32bit版・64bit版共 に対応	←	Server2003/2008(日本語版または 英語版) Server2008は32bit版・64bit版共に 対応	Server2003/2008(日本語版または 英語版) Server2008は32bit版・64bit版共に 対応
		LANカード	intel ServerAdapter	←	Fと同じ	FXと同じ
		パケット・キャプチャ・ドラ イバ	WinPcap 4.0.2(64bit版OS使用時 はVer4.1.1)	←	WinPcap 4.1.1	WinPcap 4.1.1
ライセンス	ライセンス体系	監視対象ファイルサーバ数(IPアド レス数)に応じたサーバライセン ス	・監視対象ファイルサーバ(IP)数 無制限。(複数ファイルサーバを 同時に監視可能)。インストール 台数に応じたインストールライセ ンス	監視対象ファイルサーバ数(IPアド レス数)に応じたサーバライセンス (*2)	・監視対象ファイルサーバ(IP)数無 制限。(複数ファイルサーバを同時 に監視可能)。インストール台数に 応じたインストールライセンス (*2)	

(*1)IPv4環境におけるIPv6通信対応

(*2)H/WやOS交換時には、新しいライセンスキーが必要です。ライセンスキーの再発行は有償サポートに含まれます。